



令和7年度に高等教育院へ 新しく着任された先生方よりご挨拶



宮原 一弘 講師

昨年度までは理学研究科に所属しておりました。2018年度に高等教育院が設置された際、兼務教員として一員に加わり、以来、初年次教育科目や情報科目、教育のICT化を中心とした教育改革に携わってまいりました。そして今年度より、専任教員12名からなる高等教育院新体制の一員として迎えていただき、新たなスタートを切りました。担当するのはこれまで通り、情報科目や教育のICT化が中心となります。

現在、教育DXの取り組みが進みつつありますが、本学の状況はまだ十分とは言えません。学生の求める多様な学修を支援すべく、新たな教育環境の整備を進めていきたいと考えております。これまで同様、先生方のご支援、ご協力を賜れれば幸いです。引き続きよろしくお願ひいたします。



神原 ジュディス 講師



私は神原ジュディスと申します。私は米国の社会科および言語芸術の教員免許を所持しており、応用言語学修士を取得しています。日本の大学およびインターナショナルスクールで15年以上にわたり教鞭をとってきました。

私の教育目標は、学生が自分自身と他者を理解し、世界に変化をもたらす力に気づき、自らの学びに主体的に取組む力を身につけられるよう支援することです。私の研究関心は、人権教育と社会的公正の教育、社会文化言語学、批判的教育学、学習者の自律性と自己効力感、そして言語と学習者アイデンティティです。よろしくお願ひいたします。



三橋 アシュリー 講師

For me, English isn't a test score. It's a skill and attitude for living and working with others and being an active participant in a global society. I believe that we learn these skills best through interacting with others and creating something meaningful together. In my lecture courses, we analyze and discuss documentary films in English. In presentation, we practice public-speaking through drama and storytelling. In my project course, students work in teams to plan and produce short movies in English. In my free time, I enjoy music (I play the cello), dance, theater, art, photography, and film. I'm excited to work with you and help our students develop clear, creative, and confident voices in English!



ビラヌエバ カミーロ 講師



Nice to meet you! My name is Camilo Villanueva, but please call me Cam. I'm from Atlanta, Georgia, in the United States. My teaching philosophy is about student-centered learning. I hope to focus my classes on the student, making sure that they are in the best learning environment. My research interests are in using creative writing and literature in the second language classroom. I love reading and writing and hope to instill this in my students at NCU.

サロンガ レジナルド 講師



I have been offering active, content-rich, and language-incorporated learning through lectures and project-based pedagogy aligned with the Sustainable Development Goals (SDGs). The courses also introduced students to community engagement through volunteer work and lifestyle change activities, aiming to realize sustainable local solutions while understanding the global context of their chosen health and environmental issues. Teaching for the first time in an interdisciplinary setting led me to participate in several continuing professional development and education programs organized by the United Nations University in Tokyo and Southeast Asia. The opportunity also led me to my current research field of study, medical sociology. Together with our NCU students, we have been advocating for awareness and actions on health and environmental issues, and supporting the goals of the NCU SDGs Center.



バックウェル ベンジャミン 講師

ベン・バックウェルです。イギリスのリバプール出身です。私の研究は、協同学習、CLIL（統合学習）、アクティブラーニングなど多岐にわたります。

現在は、教室における音楽と歌について研究しています。本学での最大の喜びは、生徒たちが知識、勇気、あるいは創造性で私を驚かせてくれることです。私がもっとも危惧していることは、生徒が授業中に眠りに落ちてしまうことです。（私の文化では、あってはならないことです）。常に重要な点は、生徒の自主性と生徒自身がテーマを選ぶことです。そうすることで、テーマはより有意義なものとなり、質の高い学習につながることが多いのです。



コネル ティモティー 講師



Kia ora tātou / はじめまして。令和7年4月より高等教育部で英語教育を担当する講師として着任しました、コネル・ティムと申します。ニュージーランド出身です。言語学習は、新しいことを発見しながら、多様な言葉を使って自分の思いを形にしたり、自分の物語を紡いだりする、とてもわくわくする体験だと考えております。これから、名市大の学生の皆さんのが自分らしく表現し、学びを生かしながら人とのつながりを広げていけるような場を、皆さんと一緒につくれていけたらと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。



速水 幹也 助教

2025年4月に高等教育部のIR担当に着任した速水幹也と申します。着任までの10年間、私立大学で事務職員として教務に携わってきました。

専門は教育社会学と高等教育論で、特に専門職養成における大学等のアクター間の調整や葛藤について研究をしています。IRという観点では、高等教育論を専門としていること、研究手法として計量分析を行ってきたことに加え、前職でも実務として長く携わってきました。

私にとって本学は母校でもあります。これまでの研究や実務での知識・経験を活かし、母校である本学のより一層の発展に貢献すべく努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

